



2024年度

# 環境経営レポート

(2024年4月～2025年3月)



株式会社

大崎電業社

2025年4月28日  
代表者 成久 雅章



# 目次

|                                     |       |
|-------------------------------------|-------|
| 1.会社概要                              | 3     |
| 2.経営理念                              | 4     |
| 3.環境経営方針 3-1.当社における省エネルギー・省資源に役立つ製品 | 5-6   |
| 4.環境活動取組体制 4-1.役割及び責任と権限            | 7-8   |
| 5.中期目標                              |       |
| (1) 目標と実績                           | 9     |
| 6.環境活動実績                            |       |
| (1) 活動内容(計画)と実績                     | 10    |
| 7.5S活動・社内教育                         | 11-12 |
| 8.環境関連法規の遵守状況                       | 13    |
| 9.代表者による全体評価と見直し                    | 14    |

# 1. 会社概要

## 基本情報

- 社名 株式会社大崎電業社
- 代表取締役 成久 雅章
- 設立 昭和22年6月
- 資本金 4,800万円

## 事業内容

- 電磁クラッチ／ブレーキ、油圧クラッチ／ブレーキ、電源装置、スリップリングシステムの製造・販売

## 事業拠点

- 東京本社 東京都大田区大森南1-17-16
- 大阪営業所 大阪市北区大淀南1-9-16 山彦ビル 401
- 名古屋営業所 名古屋市千種区内山3-18-10 千種ステーションビル 604
- 千葉工場 千葉県香取市本矢作1170-1



東京本社



千葉工場

大崎電業社は創業以来80余年の間、電磁クラッチ／ブレーキ、電源装置やスリップリングシステムなど数多くの製品を納入してまいりました。  
わが国で初めて乾式単板形電磁クラッチ／ブレーキを製品化し、最近では各種モータの制動用として電磁ブレーキの重要性が増しており、広く一般産業機械、各種自動機、工場・港湾設備など自動化、省力化、効率化に貢献しております。  
2005年からシンフォニアテクノロジーグループの一員として、モーションコントロール事業を更に発展させ、より付加価値の高い製品・サービスを創出するため常に工夫と改善に熱意をもって挑戦し続けております。



代表取締役  
成久 雅章

## 2. 経営理念

### 経営理念

お客様の満足を最優先し、工夫と改善に挑み続ける大崎電業社

### 行動指針

- ・風をよみ 風をおこし 風にのる
- ・お客様の満足を最優先する
- ・工夫と改善に挑み続ける
- ・すばやい決断と責任ある行動をする
- ・自分がやらねばだれがやる
- ・倫理観を忘れない
- ・誇りと愛着を持つ
- ・つなぐ心で行動する
- ・約束を守る
- ・ありがとうの心を伝える

### 品質基本方針

- ・お客様に満足していただける製品を供給するため、全社員が品質活動を理解し、責任を持って行動する。
- ・一人ひとりが「品質第一」の考えに徹し、すべての業務に対して、品質の維持、改善に努める。
- ・品質活動のPDCAサイクルを回すことで、常に製品、手順及び仕組みの継続的な改善を目指す。

### 3. 環境経営方針

## 環境経営方針



### 環境経営理念

株式会社大崎電業社は、《かけがえのない地球の環境を維持し、次世代に引継ぐことは企業市民としての責務である》との意識のもと、地球環境保全の為、当社に働くすべての人が事業活動に係る環境影響を認識し、汚染の予防を図り継続的な改善活動を行うことによって、環境負荷の低減に努めます。

### 行動経営指針

当社は、環境理念に基づき、環境と事業活動の調和をテーマとして、全員参加で事業及び製品の環境保全活動を行い、環境経営システムを継続的に改善するとともに、環境負荷の低減を行います。

- 1 当社事業に係る活動として、省エネルギー・省資源に役立つ製品を開発し、販売を行うことにより、社会に貢献します。
- 2 環境目標を設定し、省エネルギー・省資源、廃棄物、水使用量、化学物質使用量の削減等に取り組みます。

- ① 二酸化炭素排出量の削減  
電力及びその他の石油起源エネルギーの使用量削減
- ② 廃棄物排出量の削減とリサイクル促進
- ③ 水使用量の削減
- ④ 化学物質使用量の削減
- ⑤ グリーン購入の促進
- ⑥ 私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を推進しています。



- 3 当社の環境活動に関する法規制、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- 4 環境方針は、全ての従業員に周知し、環境活動レポートを公開します。

改定 2024年 5月20日

代表取締役 成久 雅章

### 3-1. 当社における省エネルギー・省資源に役立つ製品

環境関連市場における当社の対応商品は、消費電力を抑えたものや小形・軽量化により省エネに貢献するもの、また、取付けられる装置や機器が省エネに寄与するもの、油圧・エア式など油漏れや配管などの無い代替品として電磁式の使用や低騒音対策形、摩耗粉を抑えた長寿命形、他社水銀使用のスリップリング代替品を含め、広義で省エネ、省力化、環境負荷軽減に対応する商品です。

**【使用例】**

- ・FA市場－自動化・省力化スマート工場向搬送装置
- ・ロボット市場－自動化、無人化、スピード化対応の各種ロボット
- ・医療器市場－画像診断用小形化、大容量データ伝送向け医療器
- ・EV市場－EV電池用フィルム製造装置
- ・半導体市場－高機能フィルム製造装置、ウエハー製造装置
- ・社会インフラ市場－風力発電機、建設工用エレベータ、制振装置



**【製造・販売商品】**

- ・電磁ブレーキ・電源装置・スリップリングシステム



▲低騒音対応ESBシリーズ  
ESB-3000



▲摺音の少ない縦形ブレーキ  
ESB-RKAシリーズ



▲油圧・エア代替用  
高トルク大形ESB-2000シリーズ



▲省エネ形4倍過励磁電源装置  
HD-120M



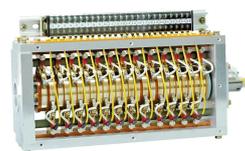
◀省スペース・大容量  
大形ブレーキ用電源装置  
HD-140



▲超小形マイクロタイプ  
スリップリング



▲薄形省スペースタイプ  
スリップリング



▲EV用電池向・FA向省スペースタイプ  
スリップリング



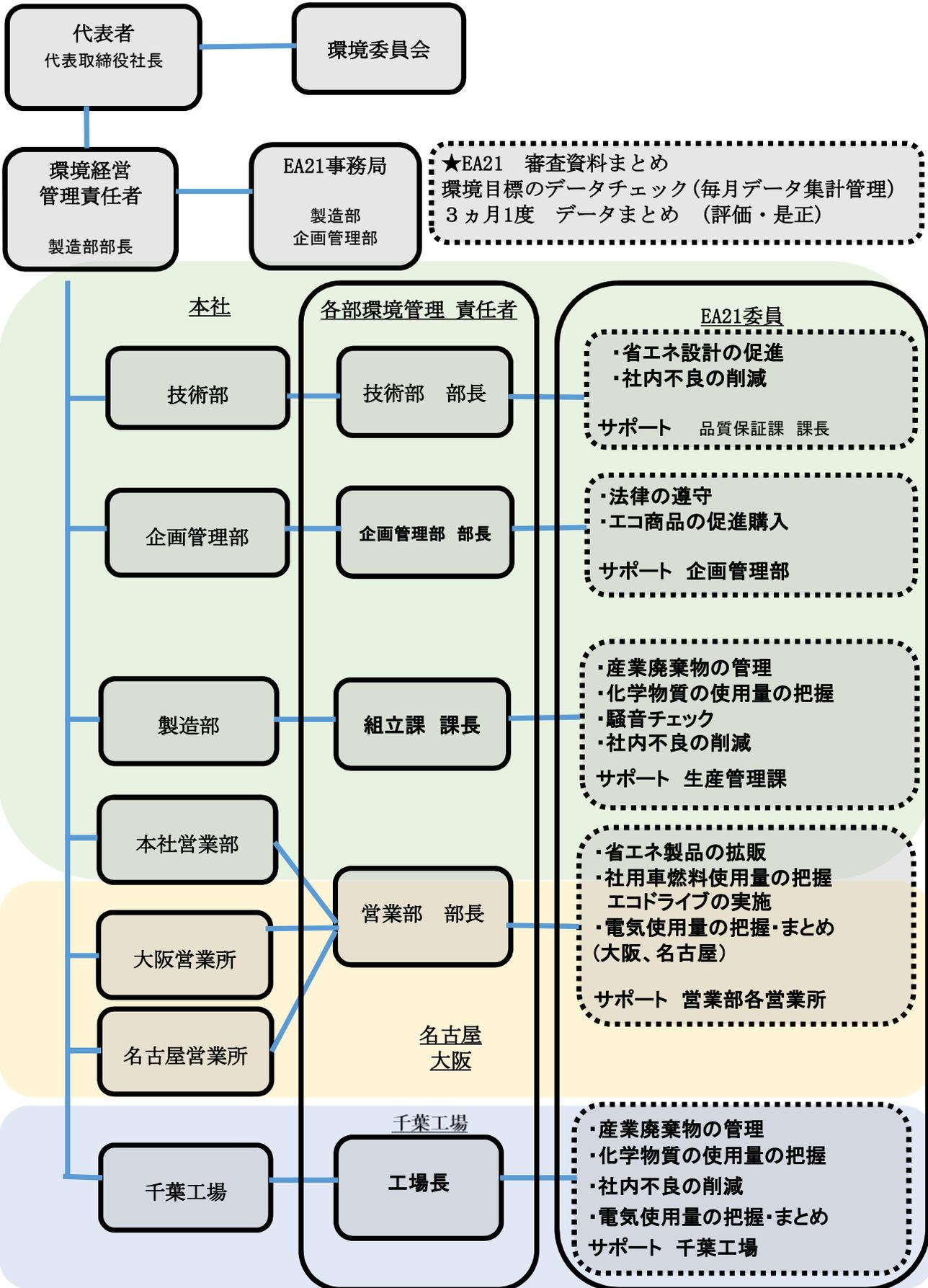
▲光ケーブル・電気用小形省スペースタイプ  
ハイブリッドスリップリング

**【省エネ・省資源商品の売上比率推移】**

■18年度を100とした比率

|                | 18年度 実績 | 20年度 実績 | 21年度 実績 | 22年度 実績 | 23年度 実績 | 24年度 実績 | 25年度 目標 |
|----------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 対18年 売上比率推移    | 100     | 80%     | 101%    | 111%    | 107%    | 111%    | 117%    |
| 省エネ・省資源商品 売上比率 | 100     | 97%     | 142%    | 172%    | 182%    | 185%    | 190%    |
| 省エネ・省資源商品 占有比率 | 9%      | 11%     | 13%     | 15%     | 16%     | 17%     | 22%     |

## 4. 環境活動取組体制



## 4-1. 役割及び責任と権限

|            |  |
|------------|--|
| 代表者        | <p>環境経営システムに関する全ての責任と権限を有する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 環境経営方針の策定及び見直し</li> <li>2) 人的資源及び専門的な技能、技術、資金の準備並びに配分</li> <li>3) 環境管理責任者の任命</li> <li>4) 経営における課題とチャンスの取り纏め</li> <li>5) 環境経営目標の承認</li> <li>6) 環境経営システムの見直し</li> <li>7) 代表者による全体の評価と見直し・指示</li> </ol>  |
| 環境管理 責任者   | <p>代表者に代わり、環境経営システム全体の構築・運用に責任を持ち、それに必要な権限を有する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 代表者へ環境経営システムの実施及び運用状況、実績等の報告</li> <li>2) 代表者からの指示事項の伝達</li> <li>3) 環境への取組の自己チェック評価の承認</li> <li>4) 環境経営目標の達成状況の評価及び代表者への報告</li> <li>5) 環境経営計画、環境経営計画実績一覧表の評価及び代表者への報告</li> <li>6) EA21マニュアルの承認</li> <li>7) EA21委員の任命</li> <li>8) 環境管理課題年間計画の承認</li> <li>9) 環境上の緊急事態の承認</li> <li>10) 環境関連法規遵守状況の承認</li> <li>11) 問題点是正処置に関する承認</li> <li>12) 環境コミュニケーションの対応に関する承認</li> <li>13) EA21委員会の召集、出席及び議題の審議</li> </ol> |
| EA21事務局    | <p>環境経営システムの取りまとめ及び維持管理を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 環境への負荷の自己チェックの作成</li> <li>2) 環境への取組の自己チェックの作成</li> <li>3) 環境経営目標一覧表の作成</li> <li>4) 環境経営計画、環境経営計画実績一覧表の取りまとめ</li> <li>5) 事業所全体に関わる環境管理課題年間計画の策定及び実施</li> <li>6) 事業所全体に関わる緊急事態の特定</li> <li>7) EA21マニュアルの作成及び維持管理</li> <li>8) EA21審査人による審査への対応</li> <li>9) 文書類、記録の管理</li> <li>10) 環境経営システムの事務作業全般</li> <li>11) 環境経営レポートの作成</li> <li>12) EA21委員会の召集、出席及び議事進行、議題の審議、議事録作成</li> </ol>  |
| 各部環境管理 責任者 | <p>事業所の環境経営システムの運用に責任を持ち、それに必要な権限を有する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 各事業所における緊急事態一覧表の承認</li> <li>2) 環境関連法規遵守状況の承認</li> <li>3) 問題点是正処置に関する承認</li> <li>4) 環境コミュニケーションの対応に関する承認</li> <li>5) EA21委員会の召集、出席及び議題の審議</li> <li>6) EA21委員の任命</li> <li>7) 課題とチャンスの作成</li> </ol>  |
| EA21委員     | <p>担当グループの環境経営システム全般を維持・管理する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 担当グループの環境経営目標の策定</li> <li>2) 担当グループの環境経営計画の策定及び実施</li> <li>3) 担当グループの教育訓練計画の教育の策定及び実施</li> <li>4) 担当グループの緊急事態の特定</li> <li>5) EA21委員会への出席及び議題の審議</li> <li>6) 問題点是正処置の実施</li> <li>7) その他、担当グループの環境に関する業務全般</li> </ol>  |
| 各部署、全従業員   | <p>一般社員、パート、アルバイトは、下記を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 環境経営計画の実施及び是正・改善</li> <li>2) 環境教育訓練計画の教育の実施及び報告</li> <li>3) 環境コミュニケーションの是正処置</li> </ol>  |

## 5. 中期目標

(1)環境負荷 \*目標と実績\*

| 環境経営目標                  | 実施項目                           |               | 2024年度目標<br>(基準:2023年度実績) | 2024年度実績       | 目標達成率   |            | 評価コメント           | 2025年度目標<br>(基準:2024年度実績) | 2026年度目標<br>(基準年比1%減) |
|-------------------------|--------------------------------|---------------|---------------------------|----------------|---------|------------|------------------|---------------------------|-----------------------|
|                         |                                |               | 全社                        | 全社             | 全社      | 全社         |                  | 全社                        | 全社                    |
| 環境負荷低減製品の拡大             | 省エネ・省資源商品                      |               | 16%                       | 17%            | 106%    | ○          | データを監視する         | 17%                       | 22%                   |
| 二酸化炭素排出量の削減<br>(kg-CO2) | 二酸化炭素排出量の削減(kg-CO2)            | 総量            | 224,524                   | 220,559        | 102%    | ○          | データを監視する         | 220,559                   | 218,353               |
|                         |                                | 電力使用量の削減(kWh) | 総量                        | 421,617        | 414,485 | 102%       | ○                | データを監視する                  | 414,485               |
|                         |                                | 原単位           | 348.0                     | 350.5          | 評価せず    |            | 350.5            |                           | 347.0                 |
|                         | 灯油(ℓ)                          | 総量            | 2,197                     | 2,170          | 101%    | ○          | データを監視する         | 2,170                     | 2,148                 |
|                         | 都市ガス(mf)                       | 総量            | 91                        | 87             | 105%    | ○          | データを監視する         | 87                        | 86                    |
|                         | 液化石油ガス(LPG)                    | 総量            | 35                        | 30             | 117%    | ○          | データを監視する         | 30                        | 30                    |
|                         | ガソリン使用量削減(ℓ)                   | 総量            | 3,389.10                  | 3,494.05       | 97%     | △          | 千葉、大阪での社有車利用増による | 3,494.05                  | 3,459.11              |
|                         |                                | 原単位           | 2.8                       | 3.0            | 評価せず    |            |                  | 3.0                       | 2.9                   |
| 軽油(ℓ)                   | 総量                             | 4,245.95      | 3,959.92                  | 107%           | ○       | データを監視する   | 3,959.92         | 3,920.32                  |                       |
| 廃棄物の減量                  | 一般廃棄物の削減(t)                    | 総量            | 7.40                      | 7.61           | 97%     | △          | 千葉県廃棄物による        | 7.61                      | 7.53                  |
|                         |                                | 原単位           | 0.006                     | 0.006          | 評価せず    |            |                  | 0.006                     | 0.006                 |
|                         | 産業廃棄物の削減                       | 総量            | 5.61                      | 3.50           | 160%    | ○          | データを監視する         | 3.50                      | 3.47                  |
|                         | 廃油(ℓ)                          | 総量            | 3,400                     | 0              | 0%      | ○          | データを監視する         | 0                         | 0                     |
| リサイクルの促進                | リサイクルの促進(t)<br>(ダンボール、PET等)    | 総量            | 0.627                     | 1.235          | ×       | 外部からの入荷部材増 | 1.235            | 0.627                     |                       |
| 水使用量削減                  | 水使用量削減(mf)                     | 総量            | 780.0                     | 474.0          | 165%    | ○          | データを監視する         | 474.0                     | 469.3                 |
| 化学物質使用量の削減(1)           | トルエン(kg)<br>東京都指定化学物質          | 総量            | 本社100kg以下                 | 本社100kg以下      | ○       | データを監視する   | 本社100kg以下        | 本社100kg以下                 |                       |
| 化学物質使用量の削減(2)           | 有機溶剤使用総量の削減<br>(PRTR法対象物質)(kg) | 総量            | 500kg以下(PRTR法)            | 500kg以下(PRTR法) | ○       | データを監視する   | 500kg以下(PRTR法)   | 500kg以下(PRTR法)            |                       |
| グリーン購入の促進               | グリーン購入の促進                      | 総量            | データ把握                     | データ把握          | データ把握   | データを監視する   | データ把握            | データ把握                     |                       |

評価記号; ○・・・達成率100%以上 △・・・達成率100%未満90%以上、監視 ×・・・達成率90%未満、未達成  
東京都指定化学物質トルエン100kg以下  
PRTR法対象物質 500kg以下

\* 東京電力エナジーパートナー㈱の二酸化炭素排出係数 0.474(kg-CO2/kWh) 関西電力の二酸化炭素排出係数 0.490(kg-CO2/kWh)

\* 原単位 = (年度総量/年度の売上高(百万円あたり))とする

\* 名古屋は中部電力であるが、ビル一括管理のため購入量管理不可

(2)事業活動に係る開発目標

|                 |   |
|-----------------|---|
| 【ESB3000シリーズ開発】 | 高効率モーターGNF2(省エネ規制対応プレミアム効率IE3)用ブレーキ開発継続<br>客先仕様品の開発 |
| 【R(縦型)シリーズ開発】   | RK(低騒音化モデル)の製品開発                                    |

## 6. 環境活動実績

### (1)活動内容(計画)と実績

| 環境活動目標            | 活動内容(計画)      |                                  | 実績 | 次年度活動計画           |
|-------------------|---------------|----------------------------------|----|-------------------|
| 事業活動に係る活動         | 資源削減製品の販売     | ESB大型機種2000シリーズ販売                | ○  | 代理店教育の強化          |
|                   | 省エネ電源装置の販売    | 消費電力を最大約1/4まで減らした電源装置の販売。        | ○  | 代理店教育の強化          |
|                   | 工程不良の削減       | 見える化、ヒューマンエラーを無くす活動              | ○  | 再発防止ゼロ            |
|                   | 設備の保守管理の実施    | 毎月の安全パトロールによる見まわり(エア配管の漏れチェックなど) | ○  | メンテナンスの見える化       |
| 二酸化炭素排出量削減に係る活動   | 照明未使用時の消灯     | 朝礼などでの全社員への癖付けなど                 | ○  | 前年度の維持            |
|                   | 冷暖房の温度管理      | 毎月の安全パトロールによる見まわり(各フロア担当者による管理)  | ○  | 前年度の維持            |
|                   | 照明器具の見直し      | 本社共用部のセンサーライト化                   | ○  | 維持                |
|                   | ガソリン使用量の削減    | エコドライブの教育、実施                     | ×  | 計画性を持った営業活動       |
|                   | 軽油の使用量の削減     | エコドライブの教育、実施                     | ○  | 現状の様子見            |
| 廃棄物の削減とリサイクルに係る活動 | 廃棄物の種類と量を把握   | 廃棄物削減                            | ×  | 廃棄物の削減継続          |
|                   | 再生可能可燃ごみの削減   | リサイクル選定                          | ○  | リサイクルの強化          |
|                   | 紙資源の削減        | コピー用紙の再利用 裏紙の使用、ペーパーレス化の推進       | ○  | ペーパーレス化の推進強化      |
|                   | 不良品削減         | 社内教育                             | ○  | 不良対策教育の実施         |
|                   | 分別回収の啓蒙運動     | 社内教育                             | ○  | 5S教育の実施           |
|                   | 部品納品時の荷姿の検討   | 協力会社への推進                         | △  | 協力会社への推進、教育       |
| 水資源に係る活動          | 水道などの栓の閉め忘れ防止 | 毎月の安全パトロールによる見まわり(各フロア担当者による管理)  | ○  | 定期的なメンテナンス計画      |
|                   | 節水の啓蒙運動       | 毎月の安全パトロールによる見まわり(各フロア担当者による管理)  | ○  | 安全パトロールによる見まわり、教育 |
| 化学物質に係る活動         | 使用量の管理        | 資材、購入実績の記録                       | ○  | 購入実績記録の継続管理       |
|                   | 適正使用量の管理      | 購入実績、前年度比などの把握、分析                | △  | 使用量の削減            |
|                   | 水性化への調査/検討    | 設計開発部門                           | △  | 水性化への調査/検討継続      |
| グリーン購入の促進         | エコ商品の選定購入     | 購入実績、前年度比などの把握、分析                | ○  | エコ商品の選定購入         |
|                   | 必要数の購入実施      | 購入実績、前年度比などの把握、分析                | ○  | 必要数の購入実施          |

○-実績あり  
△-計画未達  
×-実績なし

## 7. 5S活動(社会貢献)

5S活動 無駄を見つけやすい職場を作ることをコンセプトに毎月、活動を行っております。



緩衝材再利用ボックスを設置



### 社会貢献

#### (1)工場周辺の環境美化



当社本社工場周辺



当社千葉工場周辺



#### (2)AED自動体外式除細動器の導入



緊急時、全社員が救急措置をとることができ、不慮の事故に対し迅速に対応できるように取り組んでいます。

#### (3)地域社会との交流

年1回の消防訓練や地元の防災行事等には積極的に参加し、近隣住民との融和を図っていきます。



## 7. 社内教育

### (1) 不正防止教育

品質に係る不正事案の発生防止や品質マネジメントシステムを強固にするための実践的な活動



### (2) 特殊技能教育

【ハンダ付け作業 実技講習】



サンプル部品を使ったハンダ付けの練習・特殊工程検定



## 8. 環境関連法規の遵守状況

環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果、当社事業に適用される環境関連法規への違反なし  
 関連機関からの違反の指摘や、利害関係者からの訴訟等なし

| 法規制等の名称              | 該当する要求事項(対応すべき事項)                                      | 評価 |
|----------------------|--|----|
| 廃棄物処理法               | ・マニフェスト管理 ・許可業者への委託<br>・委託基準の遵守 ・事業者の責務 ・保管基準の遵守       | ○  |
| 騒音規制法                | ・特定施設の事前届出   | ○  |
| 振動規制法                | ・特定施設の事前届出   | ○  |
| 浄化槽法                 | ・浄化槽汚泥清掃等  | ○  |
| フロン排出抑制法             | ・簡易点検(すべて 1回/3ヶ月以上) ・有資格者による定期点検(7.5kW以上50kW未満1回/3年以上) | ○  |
| 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) | ・年間使用量の把握  | ○  |
| 労働安全衛生法              | ・安全管理者、衛生管理者の選任<br>・健康診断、特殊健康診断の実施                     | ○  |
| 自動車NOx・PM法           | ・対策地区内で排気ガス規制に適合した自動車の使用                               | ○  |
| 消防法                  | ・指定数量未満の危険物保管の扱い                                       | ○  |
| 家電リサイクル法             | ・特定家庭用機器をなるべく長期間使用<br>・再商品化に必要な料金の支払い                  | ○  |
| グリーン購入法              | できる限り環境物品等を選択するよう努める                                   | ○  |
| グリーン調達基準             | ・有害物質の管理(非使用、基準遵守等)<br>・環境マネジメントシステムの運用                | ○  |
| 東京都環境確保条例            | ・都民の健康と安全を確保する環境づくり                                    | ○  |

2025年4月19日

## 9. 代表者による全体評価と見直しの結果

| 見直し項目                   | 環境活動の状況報告  |
|-------------------------|--|
| 環境経営目標<br>環境経営活動計画の達成状況 | 24年度は23年度に比べ電力使用量は削減でき目標を達成できた。<br>併せて二酸化炭素排出量達成については、夏季の酷暑が長引いたかエアコンの更新、センサーライトに入れ替えなどと生産量減により達成できたと判断する。 |
| 法規制等の遵守状況               | 評価と見直しを実施し、遵守していることを確認した。  |
| 当社を取り巻く状況の変化            | 25年度は24年実績を踏まえ目標設定を見直す必要がある。   |

2025年4月24日

・環境管理責任者 飯田 哲生

### 代表者による総合評価（指示事項）

#### 1. 達成、未達成項目について

- ・本社、千葉工場 電力使用量削減は評価する継続して削減に取り組むこと。
- ・25年度は新たな取り組みを計画し活動を推進すること。

特に24年度に目標達成できなかった下記2項については重要監視項目として、月毎の実績確認を行い常に改善できる体制を整えること。

- ①ガソリン使用量削減
- ②産業廃棄物削減

- #### 2. 環境経営方針、環境経営目標及び計画、実施体制については、特に変更の必要はない設定通りに実施すること。 但し、環境目標については24年実績を基準年とし見直しを行うこと。

2025年4月24日

・代表取締役 成久 雅章